

## 第 85 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ : 樹林環境の順応的管理 —

5 月の研修会では、皆伐更新区域での更新阻害植物の駆除・除去・萌芽調査と  
ホトケドジョウの生息環境再生のための樹木の除伐を行いました。



例年がない雨で、第 83 回、第 84 回は残念ながら中止。  
今回は久しぶりの研修です。 好天に恵まりました！



今回は皆伐更新区域での更新阻害植物の駆除・除去、萌芽調査および  
ホトケドジョウの生息環境再生のための樹木の除伐を行います。

講師から今日の研修の説明です。



(作業実施箇所)

(対照区：今後も作業をせずに比較・観察)

午前中は皆伐地区での研修です。

2ヶ月ぶりの実習地。さぞや更新阻害植物が繁茂しているのだらうと思いきや・・・！

この半年間、継続的に同じ場所で駆除・除去作業を行ってきましたが、

その成果が見事に出ていました。



コナラの萌芽

コナラの実生

冬を越え、気温が上昇、光条件も良くなったのでコナラの実生や萌芽している株が観察されました。

萌芽している株数はコナラで50%程度、コナラやイヌシデなどは多くの実生が確認できましたので、林の再生が良いかたちで始まっていることが分かります。



アカメガシワ

今回も引き続き、アカメガシワ・ハリエンジュ・カラスザンショウなどの  
更新阻害植物の駆除・除去作業を行いました。  
良い天気だけに、あっという間に汗だくです^^；



続いて、萌芽調査です。

林が再生していく様子を記録するために必要な情報として、高さ、本数、  
(萌芽している)箇所数、太さを計測します。



比較性がしやすい基準の決め方、効率、使う道具など、さまざまなことを考慮しながら  
調査を行います。



左からクヌギ、ウワミズザクラ、シラカシです。

光条件が良くなったのでかなり繁茂しています。ここでは単に競合しているだけでなく、  
お互いに乾燥を防ぎ湿度を保つ役割も果たしています。

「競争しながら助け合う、生物多様性ってそういうこと。」さらりと講師は言いますが、ハッと  
気付かされます。



昼食後は、皆さんが気になっている環境関連のニュースについて話し合いました。  
そのニュースについての感想や考え方が話し合われることで、自分の問題として理解が  
より深まります。



午後は、北谷戸に場所を移して研修です。  
失われたホトケドジョウの生息環境を回復するための樹林管理作業が行われました。  
シラカシ、ヒサカキ、アオキ、アズマネザサなど暗い場所でも育つ植物を除去し、  
水辺を中心に林床に日光が当たるようにします。  
水辺に日光があたることで植物が生育し、水辺と森が植物でつながり、ホトケドジョウが往来  
できる環境を目指しています。



まずは伐採の仕方です。左写真のように倒したい方向に向けて「受け口」を作ります。  
そして右の写真のように「追い口」と言って受け口の少し上からノコギリを入れていくと、  
倒したい方向に倒れます。



間伐で出た幹や枝も森に還すだけでなく、杭や柵として再利用します。



ついつい一生懸命になり汗もかきますが、5月の森は空気も爽やかで作業もはかどります。



作業前

作業後



今日の研修はこれにて終了です。

次回は樹林では萌芽調査を行いながら、森の再生を促すための樹林管理の手法を学びます。  
また新たに公園内にある湿生生態園での順応的管理についても研修が始まります。

ビオトープとは何か、生物多様性とは何か、守るためには何を行っていったらよいのか、  
体験的に学ぶことができる研修内容となっています。

皆さまの御参加をお待ちしております！